

考試科目	日文	所別	外交學系 311	考試時間	2月22日(六)第四節
------	----	----	-------------	------	-------------

(一) 請將以下日文翻譯成中文： 60分

安倍晋三首相は政権発足1年を迎えた26日午前、東京・九段北の靖国神社を参拝した。現職首相の靖国神社参拝は2006年8月15日の小泉純一郎首相以来で7年4カ月ぶりとなる。首相は参拝後、記者団に「尊い命を犠牲にしたご英霊に尊崇の念を表し、御霊安らかなれ、と手を合わせた」と語った。在任1年となる26日に参拝した理由について「残念ながら参拝が政治、外交問題化している。その中で1年間の安倍政権の歩みを報告した。二度と戦争の惨禍で人々が苦しむことのない時代をつくるとの誓い、決意を伝えるためにこの日を選んだ」と説明した。中国、韓国からの反発に対しては「戦犯を崇拝する行為との誤解に基づく批判がある」と指摘したうえで「中国、韓国の人々の気持ちを傷つける考えはない。それは靖国神社を参拝した歴代の首相と全く同じ考えだ」と強調した。

一方、中国外務省の秦剛報道局長は26日午前、安倍晋三首相の靖国神社参拝を受けて談話を発表し、「公然と歴史の正義と人類の良知に挑戦するもので、強烈な憤慨を表明する」などと強く批判。日中関係が一層冷え込む事態は避けられない見通しだ。また、韓国外務省は26日午後にも在韓日本大使館の倉井高志総括公使を呼び、強く抗議するとみられる。韓国外務省当局者は、安倍首相と朴槿惠大統領による初の首脳会談実現にとって「悪材料にしかならない」と述べた。そして米オバマ政権は26日、安倍首相が靖国神社に参拝したことについて、在日米国大使館を通じて「日本は大切な同盟国であり友好国だが、日本の指導者が近隣諸国との関係を悪化させるような行動を取ったことに、米政府は失望している」との声明を発表した。米政府はこれまで、小泉首相を含めた日本の首相の靖国神社参拝に公式に反対したことはなく、今回声明を出して批判したのは極めて異例の対応だ。

(二) 請將以下中文翻譯成日文： 40分

日本文部科學省1月28日宣佈，已經決定修訂初高中「學習指導要領」解說書，強化有關領土的教育。這次解說書的修訂，主要將加入竹島（韓國稱為獨島）及尖閣諸島（中國稱為釣魚島）的相關內容。在初中的社會科及高中的地理歷史、公民（內容涵蓋政治、經濟、社會）科中，都將教授竹島與尖閣諸島是日本固有領土的內容，也會提到其納入日本領土版圖的具體經過。過去日本的教科書中，並無有關尖閣諸島的記述，竹島也只在初中的教科書中出現，修訂教科書是安倍政權進行教育改革的一環。

備註 試題隨卷繳交